

## 令和元年度 南丹地区行政相談委員協議会自主研修会

秋も深まった令和元年 11 月 28 日（木）午前 9 時 30 分から京丹波町和知支所において、京都行政監視行政相談センターの廣田所長をはじめ 4 名のご参加を頂き、行政相談委員を含む 9 名で自主研修会を行いました。

開会行事では、はじめに当協議会の日下部代表のあいさつの後、地元京丹波町の中尾参事様から歓迎のお言葉があり、続いて廣田所長様からもご挨拶をいただきました。



日下部南丹地区行政相談委員協議会長



丹波町役場 中尾参事



廣田京都行政監視行政相談センター所長



司会進行係の京丹波町担当長谷川委員

今回の自主研修は、京丹波町を含む南丹地域が京都府の中で「森の京都」と銘打って振興施策が進められていることから、「森」を支える金と人という側面から「豊かな森を育てる府民税」と「京都府立林業大学校」を研修テーマに選びました。

まず、「豊かな森を育てる府民税」の研修では、京都府農林水産部の保全推進課 企画・計画担当の竹井副主査から、府民税導入の背景、税の概要及びその用途などについて詳しく説明がありました。また、関連して昨年度成立した国税である「森林環境税」の概要やその用途及び府税との関連についてもわかりやすく説明をしていただきました。



京都府農林水産部保全推進課 竹井副主査



研修の様子

次に、京丹波町和知にある「京都府立林業大学校」について同校の木村副校長から、プロジェクターを使って種々の写真を映し出しながら、学校の目指す教育方針、カリキュラム、地元との連携や卒業生の進路などについて説明を受けました。その中では、開校にあたってのエピソードや生徒たちを支える地元の協力などについてもお話ししていただきました。



京都府立林業大学校 木村副校長



閉会の挨拶をする京丹波町野間委員

研修の後は参加者で軽食を取りながら今回の研修の振り返りや様々な情報の交換に花が咲きました。今回の研修を通じ、私たちの生活に不可欠な森林が、人口減少や過疎高齢化で放置状態が進むなかで、何とか守り育てたいという危機感にも似た取り組みであると感じました。山や森林が身近にある私たちにとっても、様々な機能性を持った大切な森林についてもう一度考えさせられる一日でありました。

(報告者 HP 委員 長谷川 博文)